

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

70m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80m 1 2 3

昭和二年 改造 四月特別号

日・支・露問題討議

福田 徳三
戴 天仇
後藤 新平

6.8

(2)

—(議 討 題 問 露・支・日)—

福田氏。 ……ヤア……

戴氏。 ……福田先生ですか……いつかあなたの講演をきいたことがありました。

福田氏。 ……黎明會のときでしたかね……

戴氏。 左様でしたらう。

福田氏。 寺尾博士の政治學校でも、たしかあなたに御目にかゝったことがありました。兎に角随分御久し振です。

戴氏。 吉野博士は如何ですか。

福田氏。 此頃は明治文化研究に夢中になつて居られます。しかし中央公論には、不相變健筆を揮つて居られる様です。

戴氏。 「改造」は支那に幾部位出て居ますか？ 支那の青年の間に一番多く讀まれてゐるやうですが……

山本 その正確な調査はないが、大賣捌店を軒別に調べればその數字は直に出ます。(山本は改造社長のことだ)

戴氏。 ……日本の社會運動は、どういふ分派に別れてゐますか。

福田氏。 分派と云へば、數へ切れない程ある様ですが、大體を云へば労働組合を中心とするものと、然らざるものとに分れると云つてもいゝかも知れません。然し近來は學生間にも社會運動に志す人が相應にある様ですし、又た文士の間にも、其様云ふ傾向もないではありません。

戴氏。 大學教授の間に於ける社會思想の傾向はドンナものですか。

福田氏。 大學教授と一口に云つても色々ありますが、あなたが知つて居られる人々に就て云へば、東京の諸先生は、皆夫々一人一黨主義で別に纏つて、一つの社會思想の旗下に集ると云ふことはありま

—(議 討 題 問 露・支・日)—

(3)

せんから、一の傾向を指摘して云ふことは出来ません。殊に此頃は形式社會學だの論理主義哲學だのと云つて、メトドロギーとかイデオロギーとか云ふことを八ヶ間敷云ふことが、若い人々の間に一種の流行の様になつて、各人區々な考を發表して居ますから、黎明會時代とは大分趣きが異つて居ります。其れとも一つは、歴史的研究の聲が多少起りまして、但し歴史的研究其ものは、未だ此れと云ふ纏つたものはない様ですけれども、其研究の必要を叫ぶ叫び聲だけはかなり大向をうならせて居る様です。要するに、十人十色と云ふのが、特色と云へば、云へるでせう。

戴氏。 京都の方は如何ですか。

福田氏。 京都の方は、不相替、河上博士がリーダーらしいです。然し此頃は福本と云ふ、或意味で云へばエライ人が飛び出して来て、大分河上博士を揉んで居る様です。然し河上博士の事ですから、必ず面白い應酬をすることせう。何しろ辯證法一點張と云ふのですから、事柄は餘り込入つては居ない。河上博士を中心として榎田、森戸、其れから或點までは東京の大内君等は、終始一貫マルキシストの立場を固守して奮闘して居る様です。此の一つの傾向を除いては、今京都にも指導的社會思想家は居ない様です、尤も佐々木博士の様本當に獨立的に眞面目にやつて居る人の中には、相當の人が集つて居るでせうが、私は京都の事は此頃は全く知りませんから、ハッキリしたことは申し上げられません。

將に専門的になる決心をせられた様です。同時に北澤、安部兩氏も政黨の大將になられたソウですが、學校の方と懸持だソウですから、大山君の様に眞劍な活動は、トテモ出来ないでせう。惜しいと云へば惜しいし、賢いと云へば賢いでせう。何となれば、無産政黨の産婆役は兎に角其政黨が本當の政黨になれば、知識階級排斥が起るだらうと思はれますから、此はあなたも廣東で既に御経験になつたこととせう、而して遠からざる將來に更に續いて起ることとせう。

懸持なら何時でも早變りが出来ませんが、大山君の様になると、其時の引込みが六ヶ敷なる、ソコで初めて本當の無産黨首としての大山君、學究看板一擲の大山君が出来上るわけですが、安部君や北澤君は、其時は引込むでせう、而して頭の空っぽになり濟せた教授として學生を苦しめることになるでせう。

戴氏。 今實際の社會運動に指導を與へ、又實際運動に参加して居る……何と云ひますか、指導者の中に主に如何云ふ思想が中心になつて居ますか。

私立大學では、大山君が流行兒で最近も大分賑やかな問題が早大にあつたやうですが、トウ／＼同君は早大を去つて労働農民黨の大

福田氏。 其れは頗る難問です、何となれば、私の見る所では、中心思想と目す可きものが見當らないからです。昔は勞資協調主義、温情主義などと云ふ事も、多少は意味あるものとして一の中心思想を爲して居たとも云へますが、此頃は、ドンナ時代後れの人でも、ソナ事を中心思想とする人はありません。早い話が鈴木君の友愛會時代には、添田博士や、澁澤子爵が、温情主義五分、社會事業五分と云ふ様な處で、友愛會の世話をして、鈴木君も一生懸命に其れにバツを合せて居た様ですが、今ではソナ事もあつたかねと云ふ次

第ですから。

温情主義に入れ代つて起つて来たのが労働組合中心思想でせう。

これは今日でも中々勢力があります。大體日本労働総同盟の現中心者達は、此思想の中堅と見て差支ないでせう。殊に麻生君一派の分離後は、著しく其の色彩を鮮かに示して居ます。

労働総同盟も、一時は著しく左傾したやうですが、其れは實は一時の悪夢か善夢か兎に角一の夢で、此頃は其の本性に立還つたものと見て大過ないでせう。

デスから、實際運動者中の一大陣營は、労働組合中心思想の人々によつて立形され、而して其大本營が日本労働総同盟であると見れば間違ひはなさうです。

之れに對抗する他の陣營は、まだブルーイング(醸造中)だと云つたらいゝでせうが、其中で榎橋、麻生君等の日本労働農民黨(大山君のは日本なしの労働農民黨です、甚だやゝこしいが、混同しないで下さい)が、今の處一番見込のあるものでせう。これが他日日本の労働運動の中堅となるや否やは、今では何とも云へないことですけれども、兎に角景氣は大分いゝ様ですから、麻生君の熱心と誠意とが今の儘に繼續するものなら、其前途は刮目して見る可きのものでせう。唯麻生君は、少し計畫に富み過ぎて居り、従つて急變的危険なしと限りませんから、其點は心配物です。

此派の中心思想は、組合主義ではありません。さりとして組合を輕視しすぎるのでもなし、マルキシストの様でもあり、ない様でもあり、其點は大山君の方が、シツカリして居ます。私の想像では、他

餘りシツカリして居たとは云へません此點は吉野博士の批評の方が本當でせう。然し愈々露骨になつて來れば大山君の小兒病——コンナ言葉が、日本では流行ります——も全快するでせう、其時は兎に角一の中心思想として、労働組合一點張に優に對抗することになるでせう。

戴氏。政治運動としての日本の無産政黨運動ですね、是はどう云ふ傾向を取つて進んで行くかと云ふあなたの御觀察ですか。

福田氏。右申した通りですから、政治運動としての前途の傾向は丸で分らないとお答した方が當つてゐるかも知れませんが、政黨によらざる政治運動としての無産者運動は、日本では迎も發育する見込はないと斷言することだけは出來ると思ひます。既に政黨運動であれば、議會に勢力を得なければ何もありません。従つて、理屈は何とでも付くでせうが、實際の政治運動としての無産者運動は、日本に於ては、革命運動とはならないで、議會を中心とする運動となることと思ひます。手近く云へば、選挙毎に出來るだけ多くの無産代議士を議會へ送り込むことに主力を注ぐことになる外はあるまいと思ひます、御承知の通り、次回からは普通選挙ですから、此の傾向は著しく刺戟されるに相違ありません。ですから實は思想としての統制中心の思想の有り合せがなくとも、無産政治は榮へて行くでせう、而して其れで間に合つて行くでせう。否、たとへマルキシストでもレニストでも政治運動をなすからには、組合主義者と別に變りはないことになりませう。而して議會に入つての一々の現實問題に就ては、當分は迎も決定的勢力とはならないから、共產主義でも社

日兩者が一緒になることありとするならば、其は思想上に於て麻生君等が大山學派となり従つてマルキシスト——或はレニスト——となり、反對に實際運動の上では、大山君が顧問に降格して、麻生君等の制を受ける時ではないかと想像して居ます。しかし離合集散常なきが人生デスから、將來の豫言などは減多には出來ません。

兎に角、私は吉野博士の社會民衆黨は、麻生君などなくしては、先以て見込なかるべしとの浅い考から、初は、切りに兩君の提携の破れざらんことを窺かに祈つて居たのですが、其以後兩派の發展の有様を見ると、合せものは離れもの、これは、行く可き所に行つたもので、覆水盆に返らずぢやないかと思つて居ます。而して政黨としての戦ふ力は麻生黨の方により多くありはしないか、社會民衆黨は餘り品が善過ぎて、實業同志會と五十歩、百歩の間隔の邊をブラブラするのぢやないかを慮れるものです、其が杞憂に終れば仕合ですが。

兎に角社會民衆黨は労働組合中心と云ふ外には、殆んど何等の纏つた統制的思想を今の處持合さず、日本の附く労働農民黨即ち麻生黨も詮じ詰れば、此れと云ふ統制思想を持たず、ブランコをして居ると云つても、別に例の福田の悪口雜言と難ぜられる憂はないものと思つて居ます。此間にあつて、兎に角浅いか深いかは別として、大山君——北澤君と混同しては困ります、北澤君は我々程度の本箱虫級を出ては居ません、我々と違ふ所は、北澤君が極めて惻巧な人であると云ふ丈けでせう——大山君丈けは、シツカリした思想を握つて居ると云へば云へます。尤も早大を退くときの態度は、

會主義でも又は其を否認する人でも、餘り差ひはないでせう。其差別が顯はれて來、其が現實問題となるのは、無産代議士が少くとも今の床次黨位な數を得る時でせう。否左様なつても、矢張り妥協とか何とかで結局、グダヤグダヤになりはしますまいか知ら、ソコで當分は、主義や思想の問題は、所謂思想鬭争屋——先刻申した福本氏等のやつて居る——の専業となるのではありますまいか。

(後藤新平氏來場)

戴氏。大分久しくお目にかゝりませんでした。

後藤氏。丁度貴方の來られたことを聞いて居ましたけれども、改造社から御案内があつて丁度いゝ機會だからお目にかゝらうと思つて居りました。

戴氏。着いてから直ぐ、一時も早くお目にかゝらうと存して居りましたが、此兩三日非常に混雜して居るので……。

後藤氏。およばれが多いやうですな。

戴氏。失禮して居ります。

山本。(後藤氏に向つて)中村さんもう……(この日前東京市長中村是公氏逝く)

後藤氏。惜しい人でした。あんなさつぱりした人を……さつぱりした人と云ふものは勉強しないもので、其職に當ると獻身的に勉強する人は少くない。人間と云ふものは慾と二人でなければ働かぬものが多いもの……戴天仇氏に向つて)今度は何時まで御滞在ですか。

戴氏。出來れば花を見て歸りたいと考へて居りますが、多分それまでの暇がなからうと思ひます。國の方もいろ／＼用があるのですか

ら早く歸らなければならぬと思ひます。大分久しぶりですから出来る丈居りたいと考へておりますが。

後藤氏。お國の方のナニは新聞では、段々やりますが、新聞より多くの混雜ですか、新聞より少ない混雜ですか。それはものにもよるけれども、大體に於て……。

戴氏。私は現在の支那の状態は極く簡單に見て居ります、後藤氏。は、あ。

戴氏。新聞紙上の混雜と云ふのは、ごく個人々々の立場を、そのまゝ新聞に表はしただけのこと、支那の事情は新聞紙上の混雜程混雜して居ないと私は思ひます。一番明白に事實問題として見ることに出来るのは現在支那の國家的立場、又國民の經濟的生活狀態から觀まして、今日ごく簡單な問題しかないので、恐らく問題とするのは、國家の獨立を全うすると云ふごく單純なもので、問題と云ふのは眼の前の問題で、此國民的希望が完全に實現するまでの支那はごく簡單な支那です。政治問題にしましては、亦社會問題にしましては、ごく簡單であると私は觀て居ります。

是は又、例へば現在の民衆運動、凡ての社會狀態と云ふものが非常に複雑になつて居ると云ふのは事實です。併し、政治的に現はれて來る所の民衆運動と云ふものは、ごく簡單なものです。一般的思想と云ふか、實際の目的と云ふか、現在支那民族の國家的解放を求めると以外に殆ど基調がない。今、一切の民衆運動が、個々別々の生活改善運動と云ふのか、是も今日の所では處々に依つて違ひますけれども、一般の今日の經濟運動と云ふのが、政治運動の形として、政治

です。それから、地方で働かずして農民の利益を剝削する高利貸、それから高利貸と官吏との間に働いて居る、色々な詰らぬ、浮浪者所謂劣紳土豪の手先になつて居る無頼漢連、さう云ふものは詰り、農民の敵なんです。であるから此農民運動がどう云ふ形に依つて現れて居るか云ふことは、總體としての支那の國家的生活の改善が出來なければ、個々別々の改善の途がないのであるから、全體の國家生活の改善と云ふのを目標として、國民革命運動として現はれつつある。であるからして、農民運動から見ましては、問題がごく簡單で、矢張一般の社會運動と云ふものは凡て國家の獨立を全うするものと同時に、現在の政治組織、政治の實質を改良して行くと云ふのが一般の基調になつて居る。それで、中國國民黨と云ふものは、此凡ゆる國民の個々別々の利益を代表するものでなく、總體として一般の國民的利益を代表して居るものである。此國民黨の代表として居る國民運動の發展と云ふのは、即ち支那の問題の、ごく簡單であることと云ふことを説明して居ると思ふ。私は大體として見て居るのでございませうが思想上から觀ますれば、色々個々別々の主義とか、色々な思想が外國から入つて來て、それから國內に於ても色々な潮流があるけれども、今日の青年、所謂革命思想を有つて居る青年の思想の根柢と云ふものはどこに在るか云ふと、まだ今日支那の一般の思想界と云ふものは具體化して居ない。或る一つの確然たるものが出來て居ない。さう云ふ思想をどう評していゝかと云ふと、舊い社會を打破する。舊い思想を打破すると云ふ漠然たる要求が今日の思想狀態であると評したい舊いものが必ずしも悪いのぢやない。悪

運動の形の下に於て行はれて居るもので、獨立した經濟運動として、此生活運動としてはまだ極く僅かな所以外には——上海の様な、若くは漢口の様な、機械工業のある地方以外には純然たる經濟的運動としての民衆運動と云ふものは殆ど見えませぬ。今の、特に日本で此二、三日方々で言われますが、農民運動ですね。是は今の所、段々人が氣付いて來ましたけれども、實際昨年の中頃までは人が農民運動に注意を拂つて居ない。是は恐らく、私の觀る所では有ゆる支那の民衆運動の基調になつて居る一つの運動である。將來支那の國家的統一の上に、又總ての社會建設の上に、農民運動、農民の組織と農民生活改善の要求と云ふものは、總ての問題の中心になりはしないかと思ふ。現在支那が農業國であると云ふことは是は誰も認めて居る事實であるが、農民生活の困難と云ふことは恐らく日本や他の外國の人々の想像して居る以上に困難して居る。現在の農民運動と云ふものは、地主反抗でなく、詰り小作民と地主との間の問題よりも、一般的政治問題と、一般的經濟問題としての農民運動が現在の事實です。假に農民協會運動として事實に現はれて居る所の此農民協會の組織から見ましても其傾向が判りますが、日本に於ける所謂小作民の組合運動と違つて、小作民、自作農、又或る程度までの地主、支那では今農民協會と云つて居る。百畝以下の地主、百畝と云ふと、日本のどの位の坪數になりますか、一萬六千坪か、八千坪か——それから農業労働者、是等なんかの大同團結と云ふ形で現はれて來ると云ふのを見ても判るんでありますが、詰り、今農民の生活に脅威を與へつゝあるのは軍閥、それから非常に腐敗しきつた官僚

いのではないが、現在の人達が詰り、自分の生活不満足であり、自分の生活が不満足であるから、此満足し得ない生活がどこから來て居るか云ふと、詰り現存して居る社會、及此社會の歴史と云ふものに満足が得られないと云ふのが一つの因であると云ふ風に觀て居る。さうすると兎に角之を改革しなければならぬ。改善しなくちゃならぬ。隨つて舊思想打破と云ふ、單に漠然たる要求が一般の思想界の根柢になつて居るのではなからうかと思ふ。それと同時に之に對抗して一つの反動思想と云ふものが自然生じて來る。此反動思想が生じて來ると云ふよりも、詰り何でも固有物を守り來つて、それを其儘保存したい。是も漠然たるもので、何を保存するかと云ふと保存する物を一々擧げる事が出來ない。兎に角革命的に前へ進んで行く思想に對抗する一つの潮流があると云ふのは争はれない事實です。けれども此力はごく微弱なものである、微弱であると云ふのは今迄支那の思想と云ふのが、舊い思想界の人物を見ましても、所謂舊思想といふものは權威を失つた。この舊思想が權威を失つて來ると云ふことを思想として見るよりも、從來の政治組織其ものが保存すべき價值がない。從來の社會組織其ものが總て現代の生活に脅威され實質的に破壊されつゝある。

さうして一般の生活狀態が非常に困難と云ふよりも、自存の出來ない程、潰れていつたと云ふ現狀であるからして、守ると云ふても其守るべき物が無い。實質的に無いから舊思想が單に一つの感情として残つては居るが、實際の權威を有つことは出來ぬ。是は日本なんかのやうに整頓して居る國と違つて、日本は守ると

云ふ、守るべき實質的のものがあるけれども、支那に於ては現在守るべき實質と云ふものがない。又社會の實生活の状態から見ればそれが無い。であるからして此守舊思想と云ふものは守るべき物が無いから突進的に舊物を打破すると云ふ思想に對抗することが出来ない。それと同時に舊思想打破の人々は舊思想を打破すると云ふことを唱へて居ると同時に、民族を保存しなければならぬと云ふ大きな目的がある。是だけは一般の生存問題であるから保存しなくてはならぬと云ふ。尤も保守的と云ふならば是こそ守るべきものがあるのです。であるから守舊思想と云ふものが、現代の革命思想と云ふものに對抗するだけの權威がどうしても無い。單に一つの感情として現はれつゝあるのであるが、大なる權威はない。是は私の大體の見方です。だからして支那を極く簡單に見て行くと今の支那の現狀と云ふものは、新聞若は色々な詰らぬ書物や何かに現はれて居る程の複雑もなければ混雜もない。私は斯う思つて居ります。

(後藤氏に向つて)貴方は先生と同じく、人を極やす學問から國を極やす立場に立つて居られる。今、如何にして支那を極やし、又世界を極やすかと云ふことに付て御意見を伺ひたい。

後藤氏。重大なお問ひで、是も先生の文法に従つて云へば簡單である。と云ふ様にもあるし、複雑な様にもあるけれども、大體支那に對してと云ふことは私の知識は古いのですから、今の支那を餘り知つて居らぬから、今の支那に斯うと云ふことは私が確かな説を云ふことは出来ませぬけれども今の支那の現在には皆が色々な事を説いてあるやうだ。其中の誰が聴いても尤もだと思ふのは、今の武斷政策

を廢めるのが一番だと、斯う云ふと大變單調の様に聞える。是かために經濟上の利益も現在とは全く異つた状態に進む、斯う云ふ事を云ふけれども、私決して武斷政策を賞揚するのでもなければ、總督政治を良いと思つて居る譯でもないけれども、さう云ふ風に簡單に行けるものぢやないと、斯う從來の話から云ふと久しく私の思つて居つたのですが、支那の經濟問題と云ふ根本に行くともう私は日本に於ける皆の考と全く違つたものを持つて居る。それは支那の一番安住を得る途は、支那の政治上の中心は經濟であると斯う思ふ。此經濟の問題、經濟學者として云ふのと私の違ふ經濟だ。一番害せられたものは何から害せられるかと云ふと似而非道德とまでは云はぬけれども、道德觀念のために非常に害せられた物がある。それは何であるかと云ふと良いこともあるけれども、ミシヨネリーに害せられて居る。その具體的のものを云ふと阿片問題です。此阿片問題と云ふものに付ては非常に外國の壓迫を蒙つて居る。さうして其壓迫が政治の非倫理なる或ものを持つて來て居る。又信仰なりとて持つて來て支那の國民が皆それに魅せられて居る。

私の云ふ事は宗教家でないから耶蘇教を悪く云ふ様にとられては困るが、支那に來て居るミシヨネリーの中に善い人もあるが、わるい人もある。大體に於て是が支那に禍して居るものが多いと考へる。是は昔からの私の考である。現在に於てどうだと云ふことを私は云ふのではない、昔からさうだ、現在も尙然りと、斯う考へて私はお話しする。それは何であるかと云ふと、阿片制度を改定しようとして私が臺灣にやつた通りの事をやつたならば支那の經濟は根本から變ると

云ふことは、是は何十年來の宿論である。確かお話しした事があるかも知れない。是は實は袁世凱が楊道臺をやつて、私が臺灣民政長官をやつて居る時に實行するばかりになつた。支那は大きいから先づ周圍の各省から幾らか妨げられると云ふこともあるので、それは臺灣でやるやうには容易く行かぬ。確に袁の力を以てやるならば、直隸だけにやつても宜い。全清國などと云ふ考なしにやつたらよからうと云ふ話をした。やるばかりになつたがイギリスの當時公使の方から各方面に金をやつて、彼に百五十萬兩かなんぼかやつて其話をやめにしてしまつた。是は昔の話で斯う云ふ事があつて支那でもやうとはしかかつたが之をやる事が大變に困難である。今日でも私はあの嚴禁をやつた方が一番いゝと思ふ。あれは私の議論にすれば漸禁説、漸次に禁ずる方法をやつて行けばそれがために支那の經濟と云ふものが根本から立つ。此經濟が立つ様になればもう自然に支那の總督政治などを改善して行く事も亦出来る。どうしてだかと云ふと、阿片警察を置くと同時に、ごくシステマチックの警察が起つて來ると云ふと總督政治の裁兵が行はれる様になる。斯う云ふのが私の元から持つて居る議論である。今でもさう思ふ。此事は餘程經濟上から安住を得せしむると云ふ事の根本の考である。其順序方法となつたら、是は私が臺灣にやつたやうな事が行けると思ふ。それは單簡な方法ではない。餘程困難であるが、併し支那に於ては臺灣よりもまだ容易な點もあるのだから、双方差引すれば結局同じものである。斯う云ふ考を有つ居るのが一つ、其次はどうしても外來思想の問題今の貴方のお話の新舊思想の戦ひの様な話だが、是は最近に

於て青年の思想が變つて來て居るから、どうしても舊思想を破壊せいと云ふのではないが、舊支那も保存すべしであるが、新思想を尊重して行くより外に未來の思想を作る途がない。是に付ての施設に付て、十分なる考をする方がいゝと思ふ。此思想が、但し、新舊の思想と云ふと單簡である様だが、中々思想も單純でなく複雑なものになる、そこはまあ取捨すべき別であります。大體に於て新舊思想の戦に付ては舊思想の保存すべきものは顧みなければならぬけれども、青年の新思想の採用と云ふか、それに付て宜しきを得る基礎を拵へなければいかぬであらうと、斯う私は大體に於て考へて居る。先づ支那では經濟上に重きを置く事にしてやらなくちやいかぬけれども、其順序としては今支那の事情に依つて、何から手を着けたらいかと云ふことは、最近の支那を研究しければ本當の事は云へないが、阿片制度は是は御參考になるかと思ふ。日本と支那との間に西洋風の侵略論が行はれたことが澤山ある。是は貴方が能く知つて居られる。

或時、私は死んだ伊藤公爵と話をした時に、公爵に、餘り武斷派の人が斯う云ふ事を云ふとか、陸軍が斯うだとか云ふやうなことで種々の議論が日本にあつた。それは日本人の議論で、陸軍の人の考がいゝとか悪いとか云ふ事に付て議論があつた。當時私は伊藤公に支那を呉れると云ふて來たら日本はどうするのです。統治の大計大略はありますかと言つた所が伊藤公が責を吹いてをつたが、一寸止めてしまつてホツと考へて、姑くして、それは自分は考へた事がないと言明され、それは正直に云はれた話で、初め自分が支那に行く時に

支那人必ず支那を汚むるの途如何と云ふぢやらうから、其時には自分の考へることはあつた支那人の統治法として何だと云ふことに付て種々に考へて居つた。その時李鴻章とも意見を交換したことがあるが、そんな破天荒な話に入つた事はないのだ。云はれて併しそれから考へなければいかぬぢやないか、それを貰つて出来る位ならば侵略することも出来るんだが、貰つて出来るだけの者はありませんかと斯う云つたが、其時伊藤公の返答は、そこを考へなければならぬ。それは考へた事はないが、併しそれは重大な問題だから今はそれに答へる事は出来ないけれども、と云ふ話であつたであつた。支那は支那で治めると云ふ對支論の話があつた假令日本でも之を全部呉れると云つても全支那の統治が日本人に出来る話ぢやないから、侵略論などを武斷派が考へることは間違ひであると云ふ事は論を俟たぬが、そこに付ては大いに講究すべき問題だと思ふ。それからでなければいかぬぢやないかと云つた事がありますが、是は座談で、すでに、其答案は聴いた事はないけれども到底それは、支那は支那人の考で治めると云ふより外にないと云ふことに歸着するのである。其前提としてはさう云ふ問題を伊藤公と話したことがある。今日では支那は支那の支那だから支那で治めると云ふことは誰も異論のない事であるから、其事は誰も疑はぬけれども、支那人が治めると云ふことに付てはどうしたらいいかと云ふ、斯う云ふ事は先づ經濟問題を基礎としてやるのが一番いい。それには私は阿片だと、斯う云ふことを申上げる。

戴氏。あなたのお話は以前から、餘程前のことでしたが承つて居ま

す。

後藤氏。あなたに會つた時にお話をしたやうに覺えて居ますが……戴氏。委しい話を聞いたことを記憶して居る。

後藤氏。その時あなたは、日本の着物を着て、羽織を着て来たやうでした。

戴氏。今、近代支那の歴史は無論阿片問題から起つて来る。其阿片問題に關しての歴史は即ち支那の近代史である。現に支那の民衆運動の方法と云ふものは、阿片問題の解決にあるのですから、簡単に言へばさう言へる。阿片戦争があつて、南京條約があつて、一切の支那の國家的境遇と云ふものが今のやうになつて来た。此問題の解決と云ふのは、即ち今の革命運動の中の、國民運動となつて現れて来た。さうして今、總ての國民運動、即ち國家の獨立を全うすると云ふ運動、又國民の生活改善と云ふのが、先づ第一に國家の獨立を全うすると云ふことになる。不平等條約撤廢の問題も、結局南京條約から以來の問題である。であるからして阿片問題に歸着する。今如何にして此問題の解決が出来るか。後藤先生の言ふ如く、支那問題は、支那自ら解決するよりほかはない。此原則の下に言へば、もう一つ付加して言へば、支那の問題は、支那に由つて解決しなくてはならぬ、支那は支那の人民が治めて行かなければならぬと云ふことが必要である。で私は現在の支那の状態を、斯う言ひたいのです。總ての國家と云ふものは、或一つの宜く働く政治的階級があつて、其階級の力と云ふものは、優越なる經濟的條件の下に於て、さうして怠けて居ない、宜く全體の社會的生活の爲めに働くも

のであると云ふ一つの階級がなくてはならぬ。日本の維新を見ましても、日本の維新は町人、百姓を解放したのが事實であるが、矢張り是は士と云ふ階級の自覺である。その力に依つて出来たものであるものと、斯う言へると思ふのです。支那の國家を政治的に統一する社會的中心力と云ふのはどこにあるか。是が一つの總ての事實問題を解釋する上に於て、最も必要な問題であると私は思ふ。それを階級とか何とか云ふやうな名前を付けて言ふと、或は非常に人がそれを嫌ふ。又非常にナニするかも知れないが、是は一つの事實問題で、近代までの支那は所謂四民平等で、餘り國民生活には大した差がなかつた。經濟的立場の差と云ふものは餘りない。さうして清朝時代、昔からの所謂科擧制度と云ふものがあつて、總ての人が、極く書物も簡單であるし、學問も容易く出来たのであるから、此簡單な生活の上に於ける政治組織、總ての人が皆、政治的支配階級と云はず、政治的に生活し、如何なる人でも政治的支配の權能を有つ機會があつた。その科擧制度が今から見ると悪いけれども、昔は其れでよかつた。だん／＼社會が複雑になり、社會の生活の組織が人口の増加、又土地の兼併と云ふ二つの事情に依つてだん／＼變つて来て居る。それから一方、諸外國から輸入して来る所の工業品の壓迫を受けて、益々舊社會の經濟的根柢と云ふものは潰れて行つた。さうしてそれと同時に、從來の農業に根據を置いて居る所の、以前の支配階級と云ふもの、單に飯を喰つて行くと云ふことよりほかの仕事が出来ないさう云ふ人達が、だん／＼墮落して行く近代支那に於て、工業が發達して居ない、通商貿易も發達して居ない。一

般の諸外國の如く、所謂近代のブルジョア階級の社會と云ふものが出来て居ない。是も舊い所謂統治の權能を有つて居る人達が、近代の政治を操縦して行くだけの權能を有たず、それだけの能力を持たなくなると同時に、近代に於ける工業的、近代の所謂資本家階級の權威と云ふものがない。それで支那と云ふ國を治めて行くには、從來は極く事が簡單であつた。どうしても多くの人民が自覺して、今現在生産的に生存して居る、農業に従事して居る、又工業に従事して居る一般の人が、政治的に自覺して來なければこの國を治めて行くことが出来ない。それで或る人達が支那と云ふやうな歴大な國には、非常な民權制度を行ふのが不適當であると云ふやうに考へるが、本當のデモクラシー、一般の生産者に政治的權利を與へて、彼等を政治に参加させると云ふだけの組織が出来ない以上は、支那の統一、本當の政治的建設と云ふのが出来て來ない。言葉を変へて云ふと、今の支那を統治して行くには、單に人民の爲に架空の政治を行つて行くと云ふことでは出来ない。人民自ら意識的に、政治的に生きて來なければ、革命の權力和云ふものを建設することが出来ないと云ふ事情にあるからして、今までの革命の経過を見ると、私は斯う言ひたい。民國十三年前の革命の總ての傾向、人民の爲に多くの人の爲に、革命をやると云ふことであるが、十三年以後の成行と云ふのが、それでは權能を有たぬぢやないか、多くの人に革命と云ふ意識を與へ政治的意識を與へて、政治的に、革命的に生きて來なければ、革命が成功して行くものでない。言葉を換へて云へば、即ち新しく此國を建てる政治的統治の權力和云ふのを造り上げること

が出来ない。此の意味から云へば現在の革命運動は即ち凡ての生産階級の政治的自覺に生きて来たのだと云ひたい。

後藤氏。それはその通りで、私もさう思う。
現在の状態もさうである。それで現在の一切の民衆運動と云ふものは、どう云ふ方向に向つて進んで居るか云ふと、即ち多数の人民の政治的自覺、政治的、意識的に、革命的に生きて来ると云ふ組織と團結を與へつゝあると云ふのが、現在の國民黨のやつて居る仕事である。此上に基礎を築き上げなくちゃならぬと、私は大體に考へて居る。のみならず一般的に人が之をさう見て考へて居る。是は國內だけでやつて行くことが出来るかと云ふと、現在の支那は如何に支那の國民が生きて来るにしても、生きて来るのが非常に困難である。全世界が一種の封建制度を布いて居る。列強の矛盾、經濟的、政治的の矛盾が其儘支那に實現して居る。さうして其一切の矛盾が支那に、實現して居ると同時に、阿片戦争、所謂南京條約、今の不平等條約に依つて支那を束縛して居る。或一人の外國人が支那に來れば、一ヶの皇帝である。總ての權力、一切を支配する權利を有つて居ると云ふやうな形では、如何に支那の國民が組織しよう、團結しようと思つても、列強の争ひに依つて、支那の國民が十分な條約の撤廢と云ふことに向つて進み、國際間に於ける國家の獨立を全うすると云ふ方向に向つて進む。何故かと云ふと、斯うでなければ一切の建設のみならず、單に統一の權能を造ることでも出来ぬのであるから、詰り支那と云ふ國家の上に、尙ほ優越の諸外國の制限—

が、其時に各地方に於ける禁煙状態と云ふものは非常によかつた。所がそれから革命の氣風が壓迫されて、革命の氣風が弱つて行くと同時に、阿片の跋扈と云ふことが非常になつて来た。今は殆ど清朝の末代よりも餘程増加して居る。さうであるから阿片禁止と云ふのは、急速的に出来ぬことではなく、出来ることである。それと同時に實際の經濟から打算すると、阿片を栽培して居る場所と云ふものは他の必要品の生産が減じて来る。田畑がそれだけしか無いのだから阿片を植えるならば、ほかのものを植えることが出来なくなる。それともう一つ、阿片を植えた場所ほど地力の回復と云ふものは困難である。例へば今年阿片を植える。それから來年になると、餘程肥料でも使はなければ地力の回復が出来ない。一種の特別な植物だから、一般の經濟からみましても、斯う云ふ苦しい立場に至つて居る支那だから、如何にして支那を救ふかと云ふことは、支那の人間を生産的に造り變へなければならぬ。努力しなければならぬ。働かなければならない。人を生産的に働かせると云ふのが、要するに實際政治の方針でなければならぬと斯う考へる。さうすると急速的に、急進的に阿片を禁止すると同時に、生産的に地力を回復する。生産的に人力を回復すると云ふのが、現在政治上に於ける一般の必要ではなからうかと、私は斯う考へる。又實際の打算をみると、阿片と云ふものは悪いものである。悪い物だから、之に阿片の爲だとか何とか云ふことを言ふのは、青年や何かは非常に嫌ふ。

後藤氏。それは其のやうです。それは議論の上からさうなつて居る。戴氏。是は實情なんです。廣東なんかは漸進的に禁止する方針に於

治外法權と云ふ、實の政治的權力から解放されなければ、支那の獨立と云ふものは全うすることが出来ない。それから實質的の現在の問題として考へると云ふと、是はいろ／＼云ひ方がありますが、單に私は阿片問題として考へても、是は全體の話を離れて、單に阿片問題と云ふ一ヶの問題として考へて、恐らく支那は、後藤先生の考へて居る政策が——現在それは廣東では其方法を試験的に執つて居る。あなたの言ふ通り漸次に禁止する方法を執つて居るけれども此方法を執つて行つて良いか悪いかと云ふことに付いて私は研究中である。と云ふのは私は斯う考へた。今廣東では、あなたの言ふ程の實が擧つて居ない。又あなたは相當計算を立て、居るのですが、その計算の十分の一、恐らく二十分の一三十分の一も、擧つて居るのではない。極く薄弱なものである、と云ふのは今一つの問題が、是は實際的に恐らく此問題に關して後藤先生の考へて居るのは、客觀的の考へで、主觀的に實際阿片を吸つて居る人、又吸つて居る人達の一切の經濟的影響、政治的影響を、それを餘りに小さく見過ぎたのではないかと思ひますが、非常に茲に困難なことがある。今の支那が民族的に衰微して來た原因、それから生産的に適しなくなる原因はどこにあるかと云ふと、要するに體力の衰微、精神力の衰微と云ふ二つに歸着する。此二つの衰微から救ふには、恐らく漸次的でなく、大英斷を要する。なか／＼むつかしい問題で、阿片嚴禁といふものは漸次的に禁止するならば容易く出来るやうに考へられる問題であるが、なか／＼困難で、急速的に、野蠻的にやるので却つてやり易い。是は私は漠然たる私の考へでなく、民國元年、二年、此二ヶ年の経過を見ると分ります

いて阿片專賣をやる。此れも勿論臨時的試験的にやつて居ることで早晩嚴禁の方針に換へる計畫になつて居るが阿片專賣なんかに従事する官吏などは碌な者でない、思想あり、學問あり、革命の氣風を備へて居るやうな人間に、阿片の徵稅若しくは專賣の仕事をやがさせようとしたところがいかない。極く腐敗した人しか其役に就かない、さうすると取締の上からも非常に困る。だからして事實問題として、一般的、打算的に考へるならば後藤先生の説は、非常に宜く行はれるやうに考へるが、愈々それを行ふと云ふことになると、果して利益があるか無いかと云ふのが甚だ分らなくなる。もつと研究を要する。此弊害を取除くには、もつと英斷を要する。さうして此禁止は國民の精神問題になる。國民の精神が一體に回復して來ることは、物質的打算よりも、一體に政治的に回復すると云ふのが、支那を救ふ上に於て、他の一般の、一々算盤に立てた打算よりもつと必要なることになる。是は漠然たる話であるけれども、政治の實際に觸れて、十數年間の経過を見ると、どうも是は必要である。

後藤氏。今の支那ではさうかも知れません。

戴氏。それだから經濟的に利益は絶對にない、財政的には或は多少目前に利益がある。何故かと云ふと、經濟的には現在の生産率を減ずることになる、少くすることになるのだから經濟的利益にはならぬけれども、財政の急を救ふ爲には極く短期間やつて宜いかも知れない。此れも根本的に財政上から考へると財政を救ふ爲に經濟上の生産力を復活させて、社會的生產力の増進に由つて財政を救ふと云ふのが根本です。であるから、現在の財政の急を救ふ爲にやつて居

ると云ふのは、民國二三年以來、阿片が斯う跋扈して來たと云ふのは、總ての軍閥が、財政の急を救ふ爲にやつて來たと云ふことが現在の失敗である。吾々の考は財政の急を救ふと云ふことは、どうも仕方がない。戦争の最中か何かでもなければ、此政策を行ふことは絶対に宜くない、國民黨の現在の考へでは、成るべく一策として之を禁止する方針を執りたい。まだ執つてはゐないけれども執る決議になつて居る。

後藤氏。禁止方針を執つたのでせう。採つたけれども私の聞く所に依れば行はれなかつた。當初から確信なき試みの制を實行したのだから。

戴氏。さうぢやない。非常に成績が良かった。清朝の末代から、光緒の末年から民國二年までの間、大分経過が良い。あの時代と云ふものは、國民の氣風でも何でも、阿片の禁止に依つて一時よくなつた。所が袁世凱の時代になつて、地方々々の戦争がだん／＼激しくなつて來た。さうすると軍資の必要が起つて來る。さうして一般の督軍とか何とか云ふものは、毒藥を飲んでも現在には忍ばなければならぬと云ふ立場に立つて、財政の急を救ふ爲に、國民の經濟的利益を棄てると云ふ、方針が兎に角、現在の状態になつた。であるからして、此政策は財政の急を救ふには、採つて宜いかも知らぬが、併し是は勿論戦争をして居る最中で、餘儀なくでなければ、此政策はやつても、害があつて益がないと云ふことになる。是は特に此數年間、最初あなたの話を聞いた時は、私はさう考へなかつたが、此數年間、愈々實際の政治に觸れて、責任を以て此問題を、特に最近

を一つの事實として計算してみた。財政的に考へると、其職務に就いて居る者が餘な者が無い、絶対禁止でもしなければ行政の整理も財政の整理も出来ない。職務の性質がよくないからどんなことをしても良い人が其職務に就かない。

後藤氏。其職務に良い人が就かぬと云ふこともあるだらうが、それは成るほど支那の事情ではさうでせう。

戴氏。であるから私は早晩嚴禁の政策を採るのが一番宜いと思ふ。經濟的に……

後藤氏。私の考へて居る所は斯うであります。其役人に弊害があつて、やつても出来ないと思ふことは、是は確に支那に私はあると思ふ。其地味が悪くなつていかぬと云ふことは、支那の全體に於てまだあつた。アブリツールのサイエンスが、全く幼稚だからさう云ふことが起るので。支那の現在のサイエンスの責もある。制度の上から云ふと、私の言ふ所のは、中央政府なら中央政府と云ふものに、政權があるものとして考へて居る所のものであつて、そこに第一の差がある。それからサイエンスの關係に於て、阿片栽培の上より未開土地の利用と云ふことに付ては、二様に考へなければならぬ。何故かと云ふと、私の聞いて居る所では、支那では阿片の栽培をしないと云ふことにしようと思ふことを、國際條約の上に萬國會議に決めて居る。それは實際行はれて居らぬ。それで支那の土地の利用上からと云ふことは、是は先づサイエンスの上から云つたならば、阿片が妙な植物であつて、土地を非常に瘦地にすると云ふこと、回復のむづかしいと云ふことは、是はサイエンスの上から云へば問題

にならないことである。支那で栽培した阿片をやらなければならぬと云ふことはないから、支那の栽培だけは禁すると云ふが、臺灣も阿片を禁じて居る。一つも作つて居ない。それと同じやうに外から持つて來た阿片で宜いのだ。それで假りに地味を減すると云ふことが、避くべからざるものと假定すると、支那の中に阿片栽培を禁じさへすれば、それは出来るけれども、役人の腐敗すると云ふことは、是は支那の今の時代に於て避くべからざるものだらうと思ふ。現在の督軍政治に於て、是が一つの金庫になつて居る。

その金庫になつてゐる爲に、非常な弊害があると云ふことは、是は私確に方々から聞いて居る。此事は、制度と綱紀の問題で、是は別問題であるけれども、支那の中の阿片の栽培は是は地味の問題である。地味はサイエンスの上から、農業の進歩から云ふと是は問題にならぬけれども、先づ是は假りに栽培を禁じさへすれば避けることが出来る。内地のことはそれで地味を害すると云ふことはなくならぬけれども、人氣が悪くなる。

戴氏。ほかに生産力が——人の生産力が——減る。

後藤氏。人間の生産力と云ふことになる、是は全く制度上の欠陥から來るので、臺灣あたりはずつと、是が爲に何等害を蒙つて居ない。是は官吏の力の如何に依るのですね。實際阿片を喫むから人が怠惰になり、阿片に關係した者は皆悪い役人であるからいかぬと云ふことは、是は制度官紀上の議論で標準にはならぬけれども、支那に於ては己むを得ないかも知れない。實際上臺灣あたりでは、阿片に關係した役人には、悪い役人はやらない。阿片を取扱ふ所の支那

人——臺灣人と云つても皆是等が腐敗墮落したと云ふことはない。

是は官吏訓練上の關係で、決してさうはならないと云ふことを、私は保證する。支那人に於て、今の中央政府の力が完全なものとして考へることは出来ないから、或は茲に於ては嚴禁する方が宜いと、斯う云ふことになるかも知れぬけれども、大體地味の説は是は、サイエンスの上のことである、憂へとするに足らぬ。支那内地に於てはやらせない。人間の事に至つては是は、私は制度のこと、唯原則に於てどうであるか、孫大人と三遍話をした。最初には決してそれに同意をなさない。終局の時は、大人自身にどう考へられたか知らぬが、又反覆して私が説明した時に、大變議論が變つて居つたやうであつた。と云ふのは、あの人はキリスト信仰があります。耶蘇教の信仰がある。所が嗜好品と戦つて政權が勝つたと云ふことはない。決してそれは無い。無用な勞をするものであると云ふ話を、二度目の時に強くした。あなたは外國のことも調べて居る、博識であるから考へて御覽、嗜好品と戦つて政府が勝つたことはない。それを宜く調べて見て貰ひたいと、斯う云ふことを言つて居つた。三回目にあつた時には、今の阿片を喫む者は情弱になると云ふことから、生物學の原則上、阿片嚴禁がさうはいかぬけれども、阿片を多量に飲めば癮者に陥る、酒と阿片とは同じことである。生理學上、急に嚴禁と云ふものはいかぬかと云ふ話まで私はしたのですが、最後に孫大人に會つた時は、あれは宜いけれども、どうも、中央政府の政治の力により、あなたの臺灣にやつたやうな政治と、私(支那)の國の政府とは違ふから、自分の政府が組織的たる後はどうか知らぬけれども、今の

支那の督軍の政府である以上には、是は至難と考慮しなければならぬと云ふやうなことを申されたことを、私は記憶して居る。それであなたの調べも實際はさうだらう。さうだらうが要するに僅かに三四ヶ月の統計や其制の可否を決することは出来ない。臺灣で最初やつた時には、數字はよく覚えて居らぬが、大體が阿片吸飲者七萬か八萬かの人、それは私が行く前の話で、行つてから後に之をすつと勵行して行つた、所が十七萬人まで殖えた——約倍の十七萬人に殖えたで、そこで世人はこの此制度と云ふものは失敗だと思ひまして兒玉總督に諫告をした人もあつたが、どうしてもそれぢや繼續してやつてみやうと云ふのでやつつた所が、だん／＼減るやうになつた。同一方針で施行方法三度やり直した。それはどう云ふ譯であるかと云と、七萬人ばかりであつたのが十七萬人になつた。それは、五人の吸飲者ある家内がある處で、一人阿片の鑑札を買つて居る。さうすると是だけの人が皆喫む。それが警察の力で、阿片の鑑札を皆貰はなければならぬやうになつて来たから、其實吸飲者數がずつと殖えるが臺灣では其知地で阿片が生産するのでなく皆輸入ですからその輸入の統計を見ると、矢張り其總額統計は阿片吸飲者の増加と共に其數を増さぬ。即ち阿片はモノボリーでやつて居るから、輸入の統計によりて正しき判斷になつて来た。そこで人數の殖えることは何等憂ふるに足らぬから、どこまでもやつて行くと云ふのでやつたのが、今は臺灣に於て減つて喫む者が僅に三萬何千人になつてしつた。最初は、あれは後藤民政長官が、統計を作らせるので人為のことだと言はれた。殊に飯谷男爵などでさへ、さう云つたものを

書いた物などが残つて居る。所がだんだんやつてみると、今では三萬人になつたからもう誰も何とも言はない。ゼネバの萬國會議でも之を是認する位に明瞭になつた。併ながらそれをどうして最近臺灣阿片制度に非難があるのは既に阿片を喫む者が、三萬何千人に減つたと云ふのに、矢張り阿片の臺灣政府の收入が減少することなくやつて居るのはどう云ふのかと云ふことである。是は支那に密輸入する譯であつて、臺灣に於ては事實は減つて居る。

戴氏。大體目前の、支那を經濟的に復活させるには、一番必要とするのは關稅問題です。一つは極く幼稚な、微弱な薄弱は産業を保護すると同時に、國民的節儉國民的節制、と云ふことが今の支那の經濟上一番必要なことである。さうして此阿片の嚴禁と云ふのは、極く最近の、國民黨の中央の會議には、殆ど毎回此問題が出る。嚴禁すると云ふ方針に一致して居る。其の嚴禁は、是は理想でなく事實問題である。是より以外に方法がありません。嚴禁は一番し易い。さうして財政的には何等の影響がない。經濟上には宜い。財政上には影響がないと云ふのは今の總ての調べに由つてわかる。

福田氏。阿政的影響がないと云ふのはどうしてですか。
戴氏。阿片に依つて收入が入つて来ない。あるにしても、財政上の受けになるにしても極く微々たるもので何にもなりません。後藤氏。財政上に何にもならぬと云ふけれども、輸入して居るのだから、計算して見ると財政上何にも關係なしといふ譯はない。けれどもそれは役人に依るのだから、それは今數大人の言はれる通りの事は私は役人より來る事實と思ふ。

福田氏。阿政的影響がないと云ふのはどうしてですか。
戴氏。阿片に依つて收入が入つて来ない。あるにしても、財政上の受けになるにしても極く微々たるもので何にもなりません。後藤氏。財政上に何にもならぬと云ふけれども、輸入して居るのだから、計算して見ると財政上何にも關係なしといふ譯はない。けれどもそれは役人に依るのだから、それは今數大人の言はれる通りの事は私は役人より來る事實と思ふ。

福田氏。さう云ふことで、財政上に結果が上らない位に官吏が腐敗して居るのに、どうして全部の嚴禁が出来ますか。

戴氏。此腐敗の爲と云ふのぢやない。腐敗といふより人が従事したくない。或る一部分の事を腐敗した人が……

戴氏。一番の問題は此處なのです。今必要とするのは、さう云ふ人を使はぬと云ふのが一番必要である。外の方面に使ふべき人は、良い人が来るのだけれども、阿片と云ふ問題に觸れると良い人が行かぬ。福田氏。だから全然禁止する。輸入も禁止する。斯ういふやうに阿片を嚴禁するには警察がシツカリしてゐなければ出来ない。それだけの警察が出来ますか。

福田氏。革命を捨て、もやる程の大事業ぢやないが、然し阿片禁止も其れ自身は即ち一個の大なる革命政治である。故に嚴禁は革命の上から考へて必要です。

戴氏。私の言ふのは警察問題ぢやない。阿片問題に觸れて居る官吏と云ふものは、極く少數なのです。
福田氏。阿片を喫む者は澤山方々にある。それを取締らなければ禁止する意味を爲さぬ。

福田氏。唯だ法律で嚴禁すると宣言しただけでは、決して革命的意味を持つものではありません。猷身的に其實行に従事する人がなければ何の意味も成さぬではありませんか。

戴氏。今は此問題に觸れてゐない。
福田氏。全然禁止し、而して、それを實行しようと云ふには其實行を保障するだけの力がなくぢやならぬ。
戴氏。話が混雜して居る。現在私が言つてゐる禁止問題は、僅かな一部分です。一地方に於て試験的にやつてゐるだけで、それが失敗してゐる。現在一般の他の地方では此問題に觸れてゐない、放任してゐる。それで一般に財政的に現れてゐない。廣東では僅か數ヶ月間此事をやつて失敗してゐる。と云ふのは、阿片を販賣する者、それに關係する者は、普通の人は關係したくない、腐敗して居る者が關係してゐる。

戴氏。さうぢやない、過去の事實に依つて、絶對禁止といふのは非常にし易い。

福田氏。官吏腐敗の爲めに專賣をやることが、出来ない。と云ふわけ

福田氏。其れは無論です、然し其れは勵行が出来るかと云ふ前提の下

福田氏。さう云ふことで、財政上に結果が上らない位に官吏が腐敗して居るのに、どうして全部の嚴禁が出来ますか。

戴氏。此腐敗の爲と云ふのぢやない。腐敗といふより人が従事したくない。或る一部分の事を腐敗した人が……

戴氏。一番の問題は此處なのです。今必要とするのは、さう云ふ人を使はぬと云ふのが一番必要である。外の方面に使ふべき人は、良い人が来るのだけれども、阿片と云ふ問題に觸れると良い人が行かぬ。福田氏。だから全然禁止する。輸入も禁止する。斯ういふやうに阿片を嚴禁するには警察がシツカリしてゐなければ出来ない。それだけの警察が出来ますか。

福田氏。革命を捨て、もやる程の大事業ぢやないが、然し阿片禁止も其れ自身は即ち一個の大なる革命政治である。故に嚴禁は革命の上から考へて必要です。

戴氏。私の言ふのは警察問題ぢやない。阿片問題に觸れて居る官吏と云ふものは、極く少數なのです。
福田氏。阿片を喫む者は澤山方々にある。それを取締らなければ禁止する意味を爲さぬ。

福田氏。唯だ法律で嚴禁すると宣言しただけでは、決して革命的意味を持つものではありません。猷身的に其實行に従事する人がなければ何の意味も成さぬではありませんか。

戴氏。今は此問題に觸れてゐない。
福田氏。全然禁止し、而して、それを實行しようと云ふには其實行を保障するだけの力がなくぢやならぬ。
戴氏。話が混雜して居る。現在私が言つてゐる禁止問題は、僅かな一部分です。一地方に於て試験的にやつてゐるだけで、それが失敗してゐる。現在一般の他の地方では此問題に觸れてゐない、放任してゐる。それで一般に財政的に現れてゐない。廣東では僅か數ヶ月間此事をやつて失敗してゐる。と云ふのは、阿片を販賣する者、それに關係する者は、普通の人は關係したくない、腐敗して居る者が關係してゐる。

戴氏。さうぢやない、過去の事實に依つて、絶對禁止といふのは非常にし易い。

福田氏。官吏腐敗の爲めに專賣をやることが、出来ない。と云ふわけ

福田氏。其れは無論です、然し其れは勵行が出来るかと云ふ前提の下

に於てのみ云ひ得可き事です、單なる法律發布だけでは何にもなりません。法律を實行する丈の警察、それに要する權力がなければならぬ。後藤さんが臺灣でやられたことも其れ丈の權力が背景にあつたからの話です。其權力がなければ行はれません。

戴氏。私の言ふのは一つの例だけで、財政的に援けにならぬと云ふのは、一例で、私の言ふ所の歸結する所は、經濟的に害があると云ふことである。

福田氏。害があると云ふので、其害を無くなさうと云ふのには、完全に禁止する必要がある。法律を作つただけでは何にもならぬ。法律を勵行して其害を無くしなければならぬ。然るに法律の勵行が出来ぬと云ふのが、支那の根本的の弱點の一つではありませんか。

戴氏。それは法律的にさう改善出来ぬと云ふのが支那の弱點である。と云ふよりも、それは單に私が言つた過去に於ける腐敗し切つた所の過去の官吏の害である、今革命的に覺醒し來つた所の民衆の、弊害でも、弱點でもなければ、革命的に意識してゐる所の革命黨の弱點でもない。

福田氏。革命の精神が、一般の支那の民衆の大部分に傳つて、政治を執る所の官吏も、革命政治をやるやうになるには、若干の歲月を要する。其歲月の間はどうしますか。

戴氏。此れは普通の政治的經驗上からの話で革命的氣風の養成又增長は、さう遅いものでない、然し一つの仕事としては是は當分の所、絶對禁止か暫時其れを勵行する暇がなければ放任する方が宜い。福田氏。そこが後藤さんの考と根本的に違ふ所でせう。

ども、さう云ふことがあるかと思つたか、全然結果が反對である。

其次は亞米利加だが、是が亦非常に反對なんだ、そこであるから、嗜好品の事を根據として、生物學的に倫理的に根據に置くこと云ふことは、まだ強いもんだと私は強味を持つて來た。斯う云ふ考から言ふと、今戴大人の言ふ所のものは、支那の事情として尤もなことかも考へるけれども、嚴禁がやれれば早く出來ると云うて、過去の二年又は一二月の成績で行くと云ふことは、之は論斷が早い。是は支那現在の政府、官吏の爲に出來ないと云ふことに私は之を見る。斯う思ふけれども、其他に人の精神生活の上に、根本に互つて、之を嚴禁すると云ふ意氣を以てやるのが、今の支那には必要と、いふ其説は私は是認してやつても宜い、一つのポリチックである。けれども是が嗜好品と戰つて、支那だけは勝ると云ふことは、どうしても生物學上むづかしい。斯う云ふことが私の考です。

山本。戴さんの時間がないのでございますが、それでも約二十五分しかない。阿片のお話も大變面白いですが、打切つて戴いて、今回の革命政府の種類、及露西亞と、日本との關係、之に於て二十五分間討議して戴きたいのです。

後藤氏。それは第一に戴大人から聞く方が宜い。福田。今の阿片問題は重大問題だと思ふが、山本さんの御希望があるから、其れに就て戴さんの御話を伺ひ度いと思ひます。

戴氏。先きの話の續きです。

今一般に支那と露西亞の問題はどうなつて居るか云ふことは、日本に來て到る處で受ける質問である。總ての人が此事に關しての

戴氏。寧ろそれだけの財政的收入を捨てる方が宜い。後藤氏。そこが違ふ。

戴氏。現在他の實際問題と比較して重大ではあるがそれ程の研究問題ぢやないから、出來る時になるならばやる……。

福田氏。重大問題であると云ふことと、出來る時になればやると云ふことは、大變に違ふ。

戴氏。權威ある政府の建立と行政の整理が一通り出來て來ると同時に、直ぐ嚴禁すると云ふ方が寧ろ宜いのです。

後藤氏。露西亞のウオツカの禁止、亞米利加の禁酒で一年ばかり非常な經驗を得た。其時に初め私は自分の説が誤りだらうかなと云ふことを深く研究して見た。と云ふのは私の此意見を採用したのは伊藤公である。其時分日本の内閣に勢力のあつたのは、白根專一、渡邊國武さんと云ふのが内閣に居つた。さうして阿片嚴禁急施設を以て反對した。私の漸禁説を伊藤公が採用したと云ふ時には、伊藤公は姑息な人だ、英斷が出來ない人が、今斷然禁止すると云ふことは出來ないから、姑息に私の説を採用したのだと、是は山縣派からの攻撃だ。其元を私が作つたからと云ふので、白根專一なども非常に私を攻撃したものであつた。私を國賊とまでいふ非難があつた。が斷じて行つて來た。其元は何であるかと云ふと、嗜好品と戰ふ程政府の愚なる戦はない。終に酒でも煙草でも勝つたものはないのだから。然し漸次に教育上の關係で向上心を養ふより外にないものだと云ふことが根據で、之に伊藤公が同意した。斯う云ふのである。所がウオツカを禁じた露西亞は大變良くなつたと云ふが最近の話だけれ

質問をする。之に對して私は二つの事を申し上げる、先刻申上げた、討論して來た所の支那の近代歴史の起り、即ち英國の毒藥政策、の結果としての南京條約以來曾て諸列國が支那に對して、不平等條約を撤廢したことはないが革命後の露西亞が始めて不平等條約を棄てた、支那は今どう云ふ國に對して好感を持つかと云ふと、當然現代國際的に束縛せられて居る支那の現在の狀態と云ふものは、支那國民の最も苦痛とする狀態であるから、此狀態より解放すると云ふことを求めるのは、支那國民の希望の總てである、であるからして不平等條約を撤廢した露西亞に對しては好感を持ち、それと同時に親交を結ぶと云ふのが、是が當然のことである、又事實的に支那の立場から當然あるべきことである。と云ふのが是は極く分り易い話であると思ふ。之に對して何等の疑もなければ、何等の秘すべき事柄もない之が一つ、それからもう一つ支那の革命と云ふことに付て、一般に私は斯う云ふことを事實として申上げた。先づ支那の革命と云ふものに二つの時代があつたと云ふが一番分り易い事と思ふ。日本の維新と云ふものは、東洋に於ける一番大きな最初の革命である。日本では、革命と言はぬけれども、革命と云ふ言葉と維新と云ふ言葉は、支那では同じやうに使つて居る。日本は維新に依つて此國政を改革し、さうしてそれに依つて國際的地位が増したと云ふことは、支那國民に對しては、革命的の非常な刺激である。それで過去の事實は、後藤先生は私共よりも能く過去の多くの事實を知つて居られますが、大體中山先生の率ゐて居る一番最初の統一した革命黨、中華革命同盟會と云ふものが東京に於て發會式を擧げた、

東京の留學生を根據にして、基礎にして作り上げたこと云ふ事實に徴しても判ることである。其時代の支那の一般地方民の考と云ふものが、どうであるかと云ふと殆ど、東京へ行けば、何か得られて歸る、つまり東京と云ふのは支那革命の策源地である、兎に角一度東京に行かなければ、支那を改革するについて知識も能力も持たないと云ふ位に、支那の一般の所謂有識者青年が、東京に對して、非常に望みを持って居つた、是は又實際一番近い改革の實を擧げた、模範である。それで此時代は何を作り上げたかと云ふと、中華民國の名は即ち之に依つて作り上げられた。それから民國三年頃に歐羅巴の戦争が起つた、歐羅巴の戦争がどう云ふことを、來たしたかと云ふと列強の帝國主義の争の結果が、各國民衆の革命となつて現れ、又露西亞、獨逸と云ふ二つの帝國が倒れ、さうして巴爾幹から全亞細亞に於ける民族運動特に民主的的民族運動として現れた。歐洲戦争の影響と云ふものは、もう戦争が始つた當時から、支那の一般の民衆が、今まで世界問題に注意しなかつたが、支那の民衆が全世界の事に注意を拂ふことを教へられた。歐洲戦争の結果、全亞細亞に於ける總ての民族の獨立運動と云ふものが、支那に非常な刺激を與へた、之が最近支那の國民運動の一番の刺激となつた。故に第二の時代と云ふものは歐洲戦争の結果に刺激せられて出現したのであつた。是は又歴史事實として誰も否認することの出来ない事である。であるから支那と露西亞の關係と云ふものは、極く簡単な事である。若し經濟的政治的關係から云へば、新に人民の生活に觸れた現在の關係から云へば、日本との關係は、露西亞よりもずつと深い關係を有する

事實に依つて具へて居つたけれども、一般の國民の心理状態、特に革命的に傾いて居る人民の心理状態は、どうであるかと云ふと、露西亞に對して、露西亞の革命後は何等の不安を懷いて居ない、と云ふのは露西亞の革命前は一般の人が非常に恐れて居つた、恐れて居つたと云ふのは、露西亞が支那から色々なものを取つて行くのでなからうかと云ふので恐れて居たのであつて、革命後に於て、一般の支那の國民が露西亞を恐れて居ないと云ふのは、露西亞が今支那に於て他の國々と同じやうに有つて居る治外法權、有つて居る租界を支那に還付した、返したと云ふ事實が存在して居る、それで今日支那の國際關係と云ふものは、どう言ひ現はすかと云ふと、各國が支那の自由を束縛して居る、それで今日支那と云ふ國は自由の國際關係を有つて居ない。凡ての國際問題に關して、同等の地位に居らない。各國とも支那に對して、不平等條約を撤廢して支那を自由の地位に置いたならば、一方に於て支那の統一が之に依つて始めて出來ると同時に、支那の國際的地位も始めて自由になり、國際的判斷も始めて自由につく、今の所では兎に角支那に自由を與へる國民は、支那の友であると云ふ極く簡単な觀念しかない、又是以上あるべきことはない。私は恐らく、是は總ての事實の根本になるであらうと思ふ、是は私の意見でない、支那の如何なる人でも之を否認することとは出來ぬであらうと思ふ。現在此東洋の狀態につき、世界の狀態につき、私が、憂ふる許りでなく、多くの人が同様に憂ふるであらう。今、東洋の狀態は歐洲戦争後數年經過して來たが、日露戦争前の狀態に段々復歸し、あるではないか。世界の狀態は、歐洲戦争

が終つて數年經過して來た今日、又歐洲戦争前の狀態に復しつゝあるではないかと云ふ心配がある。斯う云ふ一つの觀念を有つて居る。歐洲戦争前の總ての國際の矛盾と云ふものが、一般的に植民地に對して、緊張して來たのであるが、今の世界的不安と云ふものが、恐らく一般の植民地問題と云ふよりも、支那問題が總ての中心になつて、緊張しつゝあると云ふ徴候が見えるのである。それで私の考では、今支那の國際的解放と云ふのは東洋に於けるのみならず、世界に於ける不安を取除く一般的原因となり、さうして此國際的矛盾は現在一般國際的矛盾の中心になつて居る原因を無くする根本でなからうかと私は考へて居る。

デ能く中日間の親交の關係を言ひますが、私は中日間の親交と云ふのは、中日露の自由なる立場の上に於て始めて作り上げることが出来る。互に自由なる立場の上に立たなければそれを作り上げることが出來ぬ。此自由なる立場と云ふのは、何に依つて保障するかと云ふと、即ち支那を現在の地位から解放すると云ふことが一番必要である。是は極ざつとした漠然たる話であるが、是以上目前の大問題はない。又今度私が日本に來て總ての話、公開的に言ひましても、座談的に言ひましても、此話以外に私は何の考も持つて居りませぬ、私は忌憚なく極く露骨に言ふのですが、是は他の人々はもつ綺と麗な言葉を使つて色々な事を言ふのです、併し事實今日支那の何處へ行つても、誰に聞いても、特に上海邊りには十數年前からの事でありますが、色々な歌とか何とか、特に一般に下等社會の句調なんかを聞いても分る事である、私が忌憚なく申上げると、一般的に

日本に好感を持つて居ない、今まで支那の一般の國民が十數年前までは排日運動が非常に激烈であつたが、其後段々排日運動が薄くなりつつあると云ふことは、是は一つの事實である、此事實は何に依つて段々緩和して來たかと云ふと、恐らく是は民國二年中山先生が日本に來て、日本から歸り始めて中山先生に依つて、どうとしても日支の關係を回復しなければならぬと云ふ説を一般的に鼓吹したのが一番の原因である、それから變つて世界戦争の時代になつたのであります、それ以來、それまで英國對支那の關係が今までのやうに緊張して來ない、對英關係と云ふものは、其時代から益々悪くなつたのである、之に依つて見ても此支那の國民が日本に對して親交を結びたいと云ふ考は十分にあると思ふ、好感は持たぬが、好感を持たぬと云ふのは過去の事に關しての事で、將來の事に付ては親交を持ちたい、親交を作り上げたいと云ふ希望を一般に持つて居ると云ふことは是で分る、であるから此兩國の關係を厚くして、別に一つの別天地を作ると云ふ將來の兩國國民間の關係は、最も注目し注意すべき事である、是が總ての問題の根本義であると云ふことを私は考へて居る、近來日本に來て時々聞くことは、支那が露西亞との關係を絶つて終へば、日本は支那に對して援助をしようと思ふやうな話をする人が大分あります、之は私は甚だ理論の立たない事であると思ふ。

後藤氏。それは民間の人ですか、役人ですか陸海軍ですか。
戴氏。兎に角さう云ふ人があると云ふのは事實です、露西亞と支那との關係と云ふものは、支那の人が露西亞人になつたと云ふ事では

ければ、特別に露西亞から輸入品が入つて来たのでもない。
福田氏。 廣東の今の國民政府は勞農共和國聯邦の一員ではないの
すか。

戴氏。 是は博識の貴方から聞くのは驚くですな、私は此話は始めて
聞きましたが、全然それはありませぬ。

福田氏。 私は最近來朝したセミヨノフ將軍から直接に聞いたのであ
るが、彼曰く今の露西亞と云ふものは、澤山ある共和國の一で、日
本に來て居る大使は露西亞から來て居るのでなくして、勞農共和社
會主義共和國聯邦の代表者である、其聯邦の中には澤山の共和國が
入つて居る、廣東も表面に立つては居ないが、實際諸共和國の中の一
だ、而して、表面倒になると、露國は、其聯邦から脱出して、一切
の義務を免れるかも知れないと、さう言ひました。

戴氏。 セミヨノフならば其位の事は言ひさうなことである。

福田氏。 嘘なんですか、全然さう云ふことはないのですか。

戴氏。 セミヨノフでなければ其位の事は言ひ得ないでせう。

福田氏。 然らば其點はセミヨノフの一家言として捨て去るとして
次に、伺ひ度い事は、露西亞が不平等條約を棄てたと云ふ一點だけ
で、廣東側が露國と共鳴して居るのですか。露國の側として見れば
唯だ單に國際的に虐げられて居る支那を援けてやると云ふ意味だけ
でせうか、其れとも、露國の南方支那を助けるのは、世界革命の同
志として、而して支那の革命を世界革命の一の實行として助けると
云ふのでせうか。

戴氏。 貴方は革命の氣分と、革命の實際の利害と云ふものを……

て行く。今吾々の一番必要とするのは是であるから、現在此責任を
果すと云ふのが即ち……

福田氏。 それぢや支那の革命黨の理想と云ふものは、現在世界に於
いて自由なる發言權さへ得れば其れで足れりと云ふのですか、それ
ならば遠き將來を待たずして出来ることぢやありませんか。あなた
方は唯だそれだけのことの爲めに革命と云ふ大事業をやつてゐるの
ですか。

戴氏。 それはあなたの考で、學者としては……

福田氏。 學者の問題としてでなく、あなた方の現實の問題として、
私共はあなた方が、もう少し大きな理想に依つて動いてゐるのぢや
ないかと思つて居ます。少くとも南方支那の幹部の人達は……

戴氏。 それは理想と云ふものは大きい理想を持つてゐませう。

福田氏。 民衆に分つて居らぬけれども、革命の幹部の地位は……
戴氏。 併し私共が現在どう云ふことを負擔して居るか云ふと、現
在吾々は政治上の責任と云ふものを帯びてやつて居る。政治上の責
任を帯びてやつて居る人が、現在の必要と云ふ以外に吾々の實際の
仕事がない。

福田氏。 後藤さんはどんなことをしたか、阿片政策が成功したと云
ふのは、單に小手先が器用であつたと云ふばかりではあるまい。後
藤さんでなくても、もつと詰らない政治家でも、多少もう少し遠い
事を考へてゐやしないかと思ふ。況んや革命の中華民國と云ふもの
は可成り高い理想を持つてゐるものだと思ひますが、如何ですか。
戴氏。 それは即ち私共が主張してゐる所の、三民主義の高い理想で

福田氏。 露國としては、支那革命を世界革命の一部と見て居るので
はないか否かを伺つたのです。

戴氏。 世界革命と云ふものは、可なり複雑にして簡単な問題でな
い、大體今日の支那の立場は、支那の革命と云ふのをどう云ふ意味
に見て居るか知らぬが、現在支那では此全世界の國際的壓迫から解
放されたいと云ふのが、支那國民の現在の漠然たる考、又漠然たる
希望である。而して此の漠然たる考へは即ち支那に取つて一番必要
であり確實である。

福田氏。 支那が帝國主義的諸列強の壓迫から逃れる爲めには世界革
命に依るの外はないと露西亞は教へつゝあるのではありませんか。
さうでなければ彼等は自分の説を立てたものと云はねばなりませんま
い。露西亞は俺の國だけは不平等條約を捨てるが、他の國は帝國主
義の國であるから、世界革命の洗禮を受くるにあらざれば決して不
平等條約を捨てるものでないと説きつゝあるのではありませんか。
戴氏。 若し他の國々が不平等條約を撤廢しないと云ふ事が存在して
ゐる以上は……

福田氏。 不平等條約の廢棄だけですか。

戴氏。 今吾々が現在求めるのがそれです。

福田氏。 それは極く手近かな昔のブルジョア政治家が言ひさうな事
ではありませんか。……革命家のあなた方は、日本の前の條約と同
じ位なことで満足してゐるのですか。

戴氏。 満足してゐるか否かは、あなた方思想家の問題で、吾々
現在實際の政治に觸れてゐる者は、現在、現實と云ふものを尊重し

ある。吾々は此の理想を、單に支那に行はうと考へてゐるのみなら
ず、之を他の國、他の民族にも及ぼすと云ふのが、吾々の理想です。
是は單に理想でなく、世界の色々な國に依つて、——それ等は稱へ
る所が違ふかも知れないが、世界の現在の實情が、總て三民主義に
依つて支配されてゐると吾々は觀て居る。

福田氏。 あなた方が露西亞の革命思想が、世界革命であること、而
して其れはあなた方の三民主義とは違ふことが分つた時には、今廣
東に働いてゐる人なり、其後に立つてゐる人々とあなた方とは非常
な衝突をすることに成らぬか、三民主義と世界革命の思想と
は兩立しないことになりはせぬか。

戴氏。 私は少くとも此問題は餘程遠い將來の問題であつて……

福田氏。 私共はそれは決して遠き將來の問題ではないと思ふ。

戴氏。 若しあなたが、所謂客觀的社會と云ふのを見るのであるなら
ば、若しあなたが、遠くない將來の問題であると見るならば、現在
の世界に於て、現在起るべき矛盾があると云ふことを認めるのです
か。

福田氏。 矛盾を認めるのです。其の矛盾が第一に中華民國に於て現
れやしないかと云ふことを……

戴氏。 あなたの理想がそれで、他の……

福田氏。 私の理想の問題ではありません。私の伺ひ度いのは、今支
那を動かしてゐる所の一番高い理想は何處であるか、其れが中山先
生の三民主義であるとしたならば、此三民主義は、實質に於ても、
理想としても、露西亞の世界革命の理想とは兩立しないものではな

いか。實行上に於いては或程度までは一致させようが、ずつと行く
と兩立しない。一致するものでないに相違ないと思ふが如何です。

戴氏。此の問題はあなたの方の机上の批評であつて、實際の事實問題
はもつと具體的に考ふべきことであつて、吾々が現在に

福田氏。現在の事實はどう云ふ風なのか私は詳しいことは知らな
いが、革命を始められた國民黨が出来てからは、無論理想に依つて
導かれて居るに相違ない。元來中山先生の三民主義は、露西亞の革
命主義には少しも觸れて居ないのである。問題は極めて徹底して居
る。露西亞に結ぶやうになつたのは、三民主義の實現の道程の一階
段に於て結んだであらうと思ふのですが、或る所まで進んで行つた
後には、折角支那を援ける露西亞が、あなたの方の敵になりはしない
かと思ふ。

戴氏。現在私はさう思ひませぬ。

福田氏。露西亞の人は彼等自らの理想を持つて居る。あなた方は三
民主義を持つて居る。兩者は結局相容れないのではないか。

戴氏。是で一致し得ないことはないと思ふ。現在の世界に於て、そ
こまで衝突が起ると云ふことは、餘程遠い將來の問題であつて現在
はもつと大なる矛盾が存在して居ると思ふ。

後藤氏。遠い將來に於て何か起ると云ふことになるか、起らぬと云
ふことになるかと云ふのが……

戴氏。是は餘程遠い將來の問題である。現在の支那革命の責任を帶
びて居る吾々が、そこまで心配しなくても宜い。將來の問題は、將
來の人の責任であると吾々は考へて居る。

たらしめんが爲めに、阿片の嚴禁もやつて見ると仰つてゐられる
が、露西亞は國家をして結果無權力なものたらしめんが爲めに、無
産階級をして先づ政權を奪取せしめ、之れによりて經濟的の絞取り
り制度の漸廢を實現せしめる、其過程として暫時無産階級獨裁の國
家と認めると言ふのである。兩者相容れざること氷炭の如くではあ
りませんか。

戴氏。それは露西亞の主觀的考へであつて吾々は客觀的にさうは見
て居ません。ロシアの現實がさうではありません。

福田氏。いや私は現實も大部さうなつて來てゐると思ふ。

戴氏。吾々客觀的には、露西亞を一個の國家として見てみます。露
西亞と支那との關係は一つの國家と國家としての關係ではないか。

……おそらく私は日本が維新革命によつて出來た國家と私がいふ國
家とは餘程違はない氣がする……勿論國家の根柢は違つてゐます、
日本は帝國であり支那は民國であるから……

福田氏。……それは政體のことだ。國家たる所以に於ては日本も英
吉利も、獨逸も佛蘭西も同じく國家である……

戴氏。露西亞の國家も、私共の考へてゐる意味に於ては、左程他の
國家と違はないと思ひます。自分で主觀的に違つてゐると主張する
だけで、事實は余り違つてゐないと思つてゐる。

福田氏。それは間違つてゐると思ふ。私は一昨年數週間露西亞に滯
在して見ました、元よりホンの瞥見ですが、露國は決して單に宣言
斗りして居るのではない、少くとも其主張を實現したいと云ふ誠意
は充實して居ることと觀察した。單に主觀的とのみ輕視すること

福田氏。私は左様は思はぬ。遠い將來の事ぢやない、着々と事實の
上に現れて來ると思ふ。世界革命主義の實行と、三民主義の實行と
が相衝突すると云ふことが着々現はれると思ふ。

戴氏。恐らく現在ばアジアの總ての國々に依つて、特に印度ペルシ
ヤから、トルコまでの總ての實情に照して、現在如何なる理想があ
るにしても、現在ではアジアの各民族が、自分の獨立を全ふし、自
分の生活改善を先づ圖つてから世界の事がどうなるかと云ふのが、
——詰り其國の生産力が或程度まで進んで來て、共に世界の全體の
問題を……

福田氏。露西亞の人々は、國民の生産力を進めるには、政權をプロ
レタリア、無産階級の手に取りなければ出來ないと斯う見て居る。
生産力の促進と云ふ手近な問題を解決すべく無産階級に政權を取ら
ねばならぬ。然し其政權なるものは決して斯くあるべきものではな
い。先程から承ると戴さんは支那の國家が強くなり、統一したもの
が出來ると云ふことが、是が當面の大きな問題だと力説して居られ
る。此れは日本人も大抵云ふ所である。然るに、露西亞の人はさう
ぢやない。所謂國家と云ふもの、即ち戴さんの力説せらるゝ様な國
家なるものは、無産階級が政權を取つた時に無くなつて仕舞ふ可き
ものであると主張する。國家と云ふ形があるだけで、其れは結局、
無くなる可き道行をふみつゝあるものである。無産階級が政權を取
ると云ふ革命が起れば、國家と云ふものゝ正味は既に無くなつて仕
舞ふ。國家は唯だ風袋だけのものとして餘命を保つに過ぎない。斯
う言ふのです。然るに戴さんは支那の國家をして強い統一した國家

は當らないと思ふ。尤も其れは見る人によつて色々に解釋せられる
だらう。然し少くとも、一の固い信念として、一の實現せらる可き
理想として、露國の指導者を導きつゝあるは勿論、民衆も段々教育
されて、所謂プロレトカルトによつて——其れは色々な工夫を以
てなされて居る——此信念は、段々擴まりつゝある、決して減退する
ことはない、私は觀察した。其れでなければ今日まで幾多の困難
を排しつゝ、兎に角彼れ迄來ることは、不可能であると信じて居る。

戴氏。いや私は矢張り、國家そのものの實質からは大して違ひない
と思ひます。

福田氏。餘り長くなると、次の點に移れぬから、右の話は、他日の
再考を期して、次に支那と日本との關係について戴さんの御意見を
伺ふことにします。戴さん、貴方は、日本と親交を結びたいとおつ
しやるが、日本は資本主義の國であり對外的にも帝國主義の色彩が
ないとは云へない。そして日本はそれを脱却し得ない國柄である
かも知れない。貴方はその日本に對して、本當に心から親交を結ん
で、兩立して提携して行くといふ考へですか、何處かで露西亞に對
するのと違つた關係に於て、矛盾が起りはしませんか。

戴氏。そのお議論は、理論としてはさうもありませんが、社會と同
様に、國家關係はさういふ單純なものではなく、又一時に凡ての問
題が解決し得るものでもありません。支那が、露西亞の關係と、日
本との關係との間に大した解決し得ない矛盾もないと思ひます。現
在日本が支那に對して不平等條約を撤廢すれば三國間の關係は總て
比較的圓滿に行くに違ひないと思ひます。

福田氏。根底から違へばどうしても一緒になれるものではない。單に不平等條約を撤廃したり、租界を返還したりなどした丈で、永遠の親交なるものが得られるものとは思はれない、永遠に兩立す可き基礎が確立せられなければならない。日本の發展が帝國主義的、利權侵略的であるとするならば、決して眞正確固たる日支の親交は望み得られないものではないか。結局先へ行つて衝突するものなら、親交々々と今骨折つて見たとて何にもならぬ様に思はれる。此點は支那の問題たる斗りではなく、あなた方の日本に對する高等批評として伺ひ度い。

戴氏。人間各自の生活、思想、性質は勿論違つてみますが、併し皆な共通點があります。人間の總ての交渉が接近して來るのはその共通點の接近があるからではないでせうか。その接近の爲めに全然同じ人間になつて仕舞ふことはあり得べきことではないと思ひます。

福田氏。共通點と云へば、現在の英露關係が其れを持つて居りはしませんか。英國は帝國主義の國であり、露國は帝國主義と戦はんと覺悟して居る國である。又支那關係も段々其れに近い來たのではないか。露英の關係が緊張して來つゝある。支英の關係も緊張せんとしつゝある。此歴史は他日日支間に繰返される虞はないか。共通點と云へば寧ろ此邊に存して居るのではあるまいか。即ち帝國主義の國同志は一の共通點を有ち、非帝國主義の國同志は一の共通點を有つ、此兩者の間には、共通點處が永遠に残る。然し帝國主義の甲國と乙國とは互に衝突する如く、非帝國主義の甲國と乙國とも互に衝突すること無しとは云へぬ。共通點があると云ふことは、

に於て中山先生に深く敬服するものです。但しあなた方が中山先生の理想に忠實なる限り、結局あなた方と、露國とは離るゝことにな

戴氏。この點について日本人が充分に考へてほしいのですが、吾々の標榜してゐる三民主義は理想として立派なものであり、又支那に於て現に確立し得る理論であり、又確立し得る事實であるのです。

福田氏。中山先生の三民主義は理想として立派なものだと思ふ。これは露西亞の理想とは兩立しないものだと思ふ。

戴氏。そこまでは……

福田氏。ほんの僅かな處で一致してゐるので、ずつと行けば當然に離れてしもふものだと思ひます。その時露西亞との關係……

戴氏。私は實際家ですから、實際を尊重します、そこまで來るのは餘程將來の問題であつて、少なくとも現實の總ての事實に徴しては、兩立し得ない程のものとは思ひません……

山本。大變面白いお話で……時間があるとよかつたのですが、戴氏が六時から他の會合に出席される約束がありますので——もうその時間を大分経過してありますので今夜の談話會はこれでおしまひに致します。——非常に御迷惑をおかけ致しました。

戴李陶氏附記

今度改造社の折角の招きで充分に話をする積りであつたのがどうも初めから議論の限度が決つて居ない爲めに色々の雑談で時間をついやして仕舞ひ而して一番議論の要點になつて居る處は速記者の記録が

凡てに一致すると云ふことを拘束するものではない。戴氏。私は今、英吉利國民に對して何等反感を持つてゐません。若し英吉利が、今まで支那に持つてゐる一切の特權、特に政治的特權を捨て、しまえば、支那と英吉利國民の間に何等の隔てはありませ

福田氏。英國は帝國主義を捨てたくとも捨てられない國である。支那に於て帝國主義を捨てなければならぬならば止むを得ず一時は捨てるでせうが、英國は現在の儘である限り腹からそれを捨てることは出來ない。とロシア人は見てゐる。貴方はさうは見えますか、戴さん、あなたは英吉利が腹から帝國主義を捨てると見てゐますか。

戴氏。それは現在支那の政治問題としては打算しません。それより以上の世界の問題を現實問題より以上の思想問題として解決することは、思想家の爲すべきことで、吾々は一時的に悉く一切の問題を解決し得ると見てゐません。

福田氏。大體分りました。現實の政治に囚はれないで、高い理想を掲げて、その精神を鼓吹しつゝある點に於て露西亞の傾向は吾々も好ましいと思つてゐる。——が實行の點に於ては最近の露西亞は滅茶苦茶です。先づ一つもとり得る點がない。しかし兎に角一の高い理想を掲げてゐるといふことは實に感服します。其理想には私は決して感服しませんが、理想に對する態度には敬服せざるを得ません。私はあなた方が單に手近な政略にのみ没頭せず、高い理想によつて動くこと其の如くならんことを切望して已まないもので、此點

不充分であつたのと未だ結論になるまでの話が進んで居ないので充分に相互の意見を盡して居らなかつた。然し私の意見を是非系統的に改造に發表してもらひたいのですから少し暇が出來ると直ぐ書くからなるべく五月號にまに會ふ様に致します。

日本の維新の刺激に由つて支那國民が中華民國の國體を作り上げたが名義だけであつて實質は未だ上らない。世界戦争の結果全世界に瀾漫して來た處の民衆の自覺運動——社會運動と民族運動は支那の國民に一層實際的の刺激を與へて中華民國の實質を與へつゝある。今支那は全世界の帝國主義的列強のあらゆる矛盾の中心になつて居る支那の國家的民族的解放が完全に出來ない以上は全世界は凡て最も不幸なる暗雲にまつゝまれて居る。故に支那の國民革命運動は小にして支那を拯ひ大にしては世界を拯ふ運動である。私は充分に信ずる三千万の日本民族の獨立と云ふ大業の成功は亞細亞諸民族に非常なる助力を與へたが四億五千萬の支那民族の獨立運動の成功は全世界の人類解放に必ず非常なる助力を與へるに違ひない。強權と云ふ鎖は文明の創造に力になるでせうが文明の共享を要求する民衆の力は必ず強權を打破するのである。支那民族は今意識的に自分の民族を拯ひつゝあり而して無意識的には全人類を拯ひつゝある。車同軌、書同文、行同倫、と云ふ物質的大同運動は確か今日の凡ての國民運動の基調をなして居る。此れは決して矛盾ではない小より大に少數より多數に異より同に特殊のより普遍的に進む社會的進化的原則は充分には吾々に確信を與へるのである。

七年振りに日本に來て日本の民衆が非常に進歩したのを見て悦んだ

勿論満足にはなりません然し満足し得ない處は世界進化の眞なる目的が存在し大なる力量が存在する、お互に努力しよう。 草々

戴李陶附記 三月十日
アタミホテルにて

一、支那國民とロシア國民との親交は不平等條約撤廢の上に建立したのであつて全世界の國家が不平等條約を以つて支那を束縛して居る以上は他の國民と平等なる親交を建立する仕様がなない。日本と支那との關係は歴史的、文化上血統上の關係を充分に持つて居り特に近代に於いては經濟的需要供給の關係に由つて密切の度を加へて居る。若し兩國間に於ける親交を眞に建立せむと欲せば不平等條約の撤廢より始まるではないのか、此れは支那國民の日本に對する親切なる希望である。

二、政治組織、又社會組織が行きつまと革命が興る、支那民族は南京條約以來、凡て行きつまつて仕舞つた、故に革命が興るのは自然の結果である、革命の完全に成功するでなければ決して中止し得るものでない。今支那の革命の力は中國國民黨に由つて組織し指揮して居る。全國が中國國民黨に由つて完全に統一する日がもう既に來つゝある。

三、今日全世界の問題は民族問題、民権問題、民生問題以外にない此れに根本的而して統一的解決を與へるのは三民主義の原則である國民黨の奉持して三民主義は一個の最も事實的實際的的革命理論にして國家又社會建設の原則である。其の實際の建設政策は中山先生の建國方略に書してある、諸君の一讀を乞ふ。

忙中再記

◇支那人の好む鬭争

ホスト(ワシントン)紙所載

ロシアや日英其他の列強にけしかけられて、支那にはいつても内亂が絶えない。ただアメリカ人だけが、それを苦々しい事と心配してゐる。



